

令和3年度畜産政策・予算確保に関する要請について

令和2年9月24日
全国肉牛事業協同組合
理事長 中林 正悦



TPP11、日EU・EPA、日米FTA発効等の新しい国際環境に伴う畜産業に係る国内対策については、農業の各種改革を推進しつつ、マルキンの法制化及び補てん率の引き上げ、肉用子牛保証基準価格の実情に即した見直し等の収益性向上のための幅広く手厚い関連対策を講じていただき、新規参入者や担い手が希望を持って畜産経営に取り組める環境を整えていただきました。

我が国の肉用牛生産基盤の維持・強化を図るため、牛マルキン、肉用子牛基金、各種補完事業等、措置いただいた関連対策の着実な実施に必要な予算の確保に加えて、新型コロナウイルス禍における畜産経営の安定を図るための影響緩和対策の適宜実施をお願いするとともに、家族経営を中心とする肉用牛生産の維持・発展を図るため、下記の事項について、要請を申し上げます。

記

1 国産牛肉の国内需要の安定的確保

新型コロナウイルス対策として講じて頂いた、地元産牛肉の学校給食への供給事業は児童生徒にも好評であり需要拡大にも高い効果がありました。近年のパン食普及で明らかなように、学校給食での食習慣は将来にわたる需要の安定に大きな効果がありますことから、地元産牛肉の学校給食への供給支援の継続的な実施をお願いします。

2 家族経営を中心とする肉用牛生産の経営体質の強化

- ① 近年の肉用牛生産基盤の回復の動きが確固たるものとなるよう、畜産クラスター事業、担い手の育成支援事業、ICT機器の導入促進等の関連施策の推進をお願いします。
- ② 家族経営の体質強化のため、簡易畜舎の普及促進等、繁殖雌牛の増頭に資する支援施策の推進をお願いします。あわせて、畜舎建築に係る手続きの簡素化（ハード基準の確認が必要な面積の引き上げ）の早期実現をよろしくをお願いします。
- ③ 生産資材価格並びに各種手数料等について、生産者が納得のいく改善を図ること等により、生産者の所得確保ができ、担い手が育つ環境の整備をお願いします。

3 万全の家畜防疫体制の構築

宮崎県の口蹄疫発生から10年、その後の国際環境の著しい変化等を踏まえ、我が国畜産業の安定的発展のために、畜産関係者が安心して生産に取り組めるような、万全の家畜防疫体制の構築をお願いします。

4 和牛遺伝資源の適切な管理体制の構築

肉用牛生産基盤維持・強化の取組として和牛遺伝資源の適切な管理を行うことが重要であることから、生産者が安心して肉用牛生産が行えるような管理体制の構築をお願いします。